

1. 件名：中性子照射脆化等に係る原子力エネルギー協議会等との面談

2. 日時：令和4年9月28日（水）10：00～11：30

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 技術基盤グループ 技術基盤課 システム安全研究部門	佐々木企画調整官、藤澤技術参与 北條主任技術研究調査官、船田技術参与 渡辺技術研究調査官
-------------------------------------	--

日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門 西山センター長、他2名

関西電力株式会社 保全計画グループ 三菱重工業株式会社 機器設計部原子炉機器設計部 原子力エネルギー協議会	グループリーダー、他2名 主任技師 担当、他1名
---	--------------------------------

5. 要旨：

- ATENA より、原子炉圧力容器に対する供用期間中の破壊靱性の確認方法（JEAC4206-2016）の技術評価の結果を踏まえた産業界の取組について、資料1及び2を用いて説明を受けた。このうち、仮想欠陥寸法の適正化については、実機適用に向けて別途議論することを提案したい旨説明があった。
- 原子力規制庁より、実機適用に向けた議論を ATENA と行う場合には、公開で意見を聴取する等の対応を行うことになるのとの見通しを伝えた。
- ATENA より、柏崎刈羽発電所で2022年3月17日に実施した6号の非常用ディーゼル発電機の連続運転試験における不具合を踏まえ、同型式である7号D/Gに対して追加で試験を実施するとの説明を受けた（資料3）。

6. 配付資料：

- 資料1 長期運転に向けた照射脆化管理に対する産業界としての取り組み
- 資料2 JEAC4206 高度化への対応工程（案）
- 資料3 非常用ディーゼル発電機の連続運転試験実施時期について

以上